

自己適合宣言書番号	APS0002	附属書番号	APF0130-2
発行者の名称	YKK AP株式会社		
作成日	2020年10月1日	改訂日	2022年4月1日
商品	玄関ドアフロント		
仕様	一般仕様		

- 本附属書について
 - ・本附属書は、対応する自己適合宣言書とあわせてご使用ください。
 - ・本書の記載内容は、製品の仕様変更等によって、予告なく修正する場合があります。あらかじめご了承ください。
 - ・修正となった場合には、自己適合宣言書の更新によって公開いたしますので、常に最新情報をご参照ください。
- 開口部の熱貫流率について
 - ・試験値は、JIS A 4710に基づく試験により測定された代表試験体の熱貫流率です。
 - ・計算値は、JIS A 2102-1に基づいて一般社団法人 リビングアムニティ協会が運営するWindEye(開口部の熱性能評価プログラム)により計算された代表試験体の熱貫流率です。
 - ・簡易的評価は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」の「熱貫流率及び線熱貫流率」に基づき計算された熱貫流率の値です。
 - ・建具とガラスの組み合わせは、一般社団法人 日本サッシ協会ホームページ内「建具とガラスの組み合わせ」による開口部の熱貫流率表(住宅用ドア及び窓の簡易的評価)に基づく開口部の熱貫流率です。
 - ・代表試験体は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」の「窓、ドアの熱貫流率に關し試験体と同等の性能を有すると認められる評価品の範囲を定める基準」に基づき選定したものです。
- 開口部の日射熱取得率について
 - ・国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報(住宅)」に基づき計算された日射熱取得率です。

対象製品				ガラスの仕様		開口部の熱貫流率 [W/m ² K]		開口部の日射熱取得率 η		試験値	計算値	簡易的評価	建具とガラスの組み合わせ	
				ガラス中央部の熱貫流率 [W/m ² K]	適用ガラス	付属部材無し	風除室あり	付属部材無し	風除室あり					
玄関ドアフロント	枠：金属製またはその他 戸：金属製またはその他	■ドア本体：採光無 【板張りデザイン】 W01	ランマ無	片開き	-	-	5.76	3.66	0.20	0.12			●	
				親子	ドア本体：- 子扉：5.7	ドア本体：- 子扉：FL3・30mil・型3	5.77	3.66	0.20	0.12			●	
			ランマ付	片開き	ドア本体：- ランマ：6.0以下	ドア本体：- ランマ：3	5.81	3.68	0.20	0.13			●	
				親子	ドア本体：- 子扉：5.7 ランマ：6.0以下	ドア本体：- 子扉：FL3・30mil・型3 ランマ：3	5.82	3.68	0.20	0.13			●	
			ランマ無	片開き	ドア本体：5.7	ドア本体：FL3・30mil・型3	5.77	3.66	0.20	0.12			●	
				親子	ドア本体：5.7 子扉：5.7	ドア本体：FL3・30mil・型3 子扉：FL3・30mil・型3	5.77	3.66	0.20	0.12			●	
	ランマ付	片開き	ドア本体：5.7 ランマ：6.0以下	ドア本体：FL3・30mil・型3 ランマ：3	5.82	3.68	0.20	0.13			●			
		親子	ドア本体：5.7 子扉：5.7 ランマ：6.0以下	ドア本体：FL3・30mil・型3 子扉：FL3・30mil・型3 ランマ：3	5.82	3.68	0.20	0.13			●			
	金属製建具	■ドア本体：採光付 【スリット採光デザイン】 S08 【板張りデザイン】 W03	ランマ無	片開き	ドア本体：5.7	ドア本体：FL3・30mil・型3	6.02	3.76	0.70	0.65			●	
				親子	ドア本体：5.7 子扉：5.7	ドア本体：FL3・30mil・型3 子扉：FL3・30mil・型3	6.02	3.76	0.70	0.65			●	
			ランマ付	片開き	ドア本体：5.7 ランマ：6.0以下	ドア本体：FL3・30mil・型3 ランマ：3	6.26	3.85	0.70	0.65			●	
				親子	ドア本体：5.7 子扉：5.7 ランマ：6.0以下	ドア本体：FL3・30mil・型3 子扉：FL3・30mil・型3 ランマ：3	6.26	3.85	0.70	0.65			●	